



# 上勝学舎便り

平成 26 年  
3 月号

徳島大学上勝学舎は、農山漁村地域の持続可能な発展に資する自然共生型社会構築のため、人材育成・研究・支援連携のレジデント型拠点活動を行います。

## 徳島大学・上勝学舎の取り組み（重点テーマ）

### ●平成 25 年度の重点テーマ

#### 【課題解決のテーマ】 4 つ

- ・集落再生：森と水 100 年
- ・集落再生：地域資源と教育
- ・集落再生：集落と景観
- ・集落再生：6 次産業化

#### 【新たな価値創造のテーマ】 2 つ

- ・国内発信：インターユニ・フィールドワーク・プログラム
- ・世界発信：地域資源の保全・活用・教育（ユネスコ MAB・BR）

## ～上勝学舎の人～

澤田 俊明

（徳島大学客員教授）

2001 年に上勝町にシンクタンク「環境とまちづくり」を設立。その後、上勝自然体験学習研究会（ヤッホー調査ほか）、かみかつ里山倶楽部、NPO 郷の元気の創設に関与。専門は、合意形成・景観・地域計画。博士（工学）。  
\*技術士（都市及び地方計画）／徳島県景観アドバイザー



## 上勝学舎 活動報告（平成 26 年 1 月～3 月）

### 創造学習講座「むらとまちを文化でつなぐ ～祖谷と池田の活動から学ぶ」

- とき：1 月 25 日（土）13：30～16：30
- ところ：徳島大学 上勝学舎（徳島県上勝町福原川北 30 番地 落合複合住宅 1 階）
- 講師：村松 享（NPO 法人 籠庵トラスト 事務局長）／吉田 絵美（NPO 法人 マチトソラ 理事）
- ファシリテーター：澤田 俊明（徳島大学 客員教授）／佐野 淳也（徳島大学地域創生センター 助教）

#### 【内容報告】

東祖谷で歴史観光まちづくりに取り組む NPO 法人籠庵トラストの村松享さんより、地域の茅葺き民家を次々と再生し、宿泊観光事業から地域おこしにつなげる活動の流れを伺いました。

また地域おこし協力隊として三好市に入り、池田の古い街並みを活かした「うだつマルシェ」の活動を立ち上げた吉田絵美さんから、古民家と伝統文化を活かした地域づくりを進める NPO 法人マチトソラの活動を伺いました。

後半のワークショップでは、こうしたお二人のお話を踏まえ、どのように地域の文化を守り未来に活かしていけるのかについて参加者全員で話し合いました。



### 上勝学講座「ユネスコ MAB のいま」

- とき：2 月 22 日（土）13：00～17：00
- ところ：千年の森ふれあい館
- 講師：
  - ・松田 裕之（横浜国立大学／日本 MAB 計画委員会）
  - ・中坊 真（NPO 法人九州バイオマスマフォーラム）

#### 【内容報告】

国連ユネスコが行う「生物圏保護区」（ユネスコ・エコパーク）の内容について講師よりお話を伺い、上勝町での高丸山・棚田等の自然文化資源保全・活用等のあり方について話し合いました。

また森の資源である薪を販売し、新たな雇用創出を生み出している九州・阿蘇の事例を学びました。

### 上勝学講座「森林保全とアート」

- とき：3 月 1 日（土）13：00～17：00
- ところ：千年の森ふれあい館
- 講師：
  - ・鎌田 磨人（徳島大学大学院教授／生態系管理工学）
  - ・土屋 公雄（愛知県立芸術大学教授／彫刻家）
  - ・田原 唯之（武蔵野美術大学講師／アーティスト）

#### 【内容報告】

上勝町内にてアート作品を制作している土屋公雄氏を講師に、イギリスでの自然と芸術が共生する森づくりの事例を学びました。また「上勝町の森林の保全と活用」、「森林アートプロジェクトの実現と今後の活用方策」について各講師よりお話を伺いました。

## 平成 25 年度 徳島大学 上勝学舎 全体報告

### 教育・人材育成

#### ○ 地域再生人材創出講座（11月23日（土）・24日（日）／会場：福原ふれあいセンター）

農山漁村を元気にする人材育成講座。今年度で5回目となる今回の講座では、町内外より30名が参加し、様々な横石社長はじめ、多彩な講師陣より森・水の資源の活用や6次産業化について学びました。

#### ○ 上勝学講座（全4回／会場：福原ふれあいセンター・千年の森ふれあい館）

8月から3月にかけて全4回開催。「美しい村の伝承」や「森林保全とアート」、「海士町から学ぶまちづくり」など多彩なテーマで開催し、町内外から多くの参加を得ました。

#### ○ 創造学習講座（全5回／会場：上勝学舎）

地域づくりの方向性を学ぶ少人数の講座として今年度新たにスタート。「神山町から学ぶ地域づくりの視点」、「むらとまちを文化でつなぐ」、「地域資源の教育的活用」など多彩なテーマで開講し、合計79名の参加を得ました。

#### ○ インターユニ・フィールドワーク（9月11日～15日）

徳島大学・鳥取大学・岐阜大学の3大学合同の地域学習プログラムを上勝町内で行い、学生・教職員合わせ34名が参加。学生たちは「いろいろ」、「棚田」、「ゼロ・ウェイスト」、「農村起業」、「Iターン」、「森林」、「住民自治」の7つのチームに分かれ、9月14日に福原ふれあいセンターで成果報告会を行いました。



インターユニ・フィールドワークに参加した学生たち

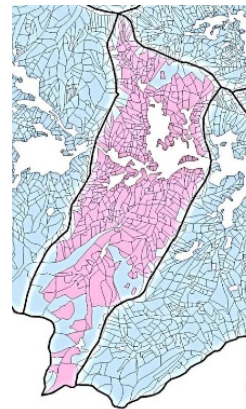
### 上勝学研究（平成25年度・市宇地区で研究がスタートしました）

#### ○ 「森と水100年」：市宇地区で研究スタートしました。

・平成25年度より、徳島大学・鎌田磨人研究室（生態系管理工学）が、上勝町市宇地区において「森林保全活用」に関する研究をスタートしました。

・樹種や林齢別に細分した区画である「小班面積」の平均は、徳島県1.19ha、上勝町0.80ha、市宇地区0.52ha（右図）でした。

・面的なまとまりが少ない市宇の人工林においては、大型化・集約化による「高能率団地」を目指す徳島県の人工林管理の方針を適用することは困難なことが、研究の結果わかりました。



市宇地区・小班区画

○ その他：「地域資源と教育」、「集落と景観」、「6次産業化」をテーマとする研究活動については、現在その基礎となる地域との活動連携を促進中です。

### 支援連携・拠点活動（平成25年度・新たに「やいたか」との活動連携がスタートしました）

○ 活動連携（しくみA）：八重地・市宇・田野々・檜原の棚田4地区の活動をつなぐ住民組織「やいたか」と、上勝学舎との活動連携が平成25年度新たにスタートしました。その活動の一環として、平成26年3月1日には「棚田石積ボランティア」が開催されました。

#### ○ 上勝学舎報告会（1月11日／会場：上勝町コミュニティセンター）

上勝町でフィールド調査を行った徳島大学及び大阪大学の教員・学生からの研究報告と、上勝学舎の年間の活動報告を町民及び一般対象に実施しました。

徳島大学地域創生センター上勝学舎

担当：佐野淳也、澤田俊明

<http://www.tokushima-u.ac.jp/cr/kamikatsu/> E-mail: [cr-office@tokushima-u.ac.jp](mailto:cr-office@tokushima-u.ac.jp)

徳島大学地域創生センター 〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地 TEL: 088-656-7684

徳島大学上勝学舎 〒771-4501 勝浦郡上勝町大字福原字川北30番地落合複合住宅事務所2号 TEL/FAX: 050-3438-8649